

現場主義!! 即戦力。

い ず み だ 自 民 党

泉田 ひろひこ



長島代議士の想いを国政へ

私の新潟県知事時代、就任直前に起きた中越大震災からの長島村長との絆、長島議員との国政での連携・協力がありました。

二つの震災復興や危機対策の経験を活かして、長島議員と私の共通の思いである、災害に強い地域づくりや豪雪に強い地域づくりに取り組み、現場の声を生かした地方創生、そして、真に安全・安心を実感できる危機管理・防災対策を、国政から実現します。

中越大地震や中越沖地震、豪雪災害、新潟・福島豪雨災害をはじめ、東日本大震災や熊本地震等、様々な災害から得た経験・教訓を生かして、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを進めます。

大都市との格差是正

～ 地方分権推進 / 未来への投資の拡充 ～

地域の魅力と可能性を引き出し、人口減少対策や、若者やお年寄り皆さんが夢と希望を持ち、安心して暮らすことができる地域を実現します。

また、地域の技術等を活かした新たな成長分野に対して、民間が競争力や知恵を発揮しやすい環境と仕組みを整え、安定した雇用と豊かさを創出します。

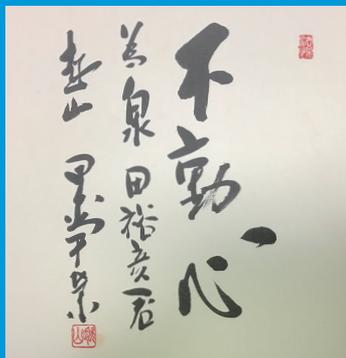
食料安全保障や災害に強い地域を目指し、農業、建設業という地域の基幹産業を振興します。

以上を実現していくためには、地方分権を促進することが重要です。国政の場から、県や市町村と連携しながら、日本海国土軸の拠点として、新潟県がさらに競争力のある自立した地域になることを目指します。

与党から原発政策の欠陥を是正

原子力防災は、様々な制度の不備が明らかになっています。これらの問題は、国でなければ解決できない法制度等の課題があり、知事時代に全国知事会等と一緒に実現した、国の「原子力関係閣僚会議」でも原子力防災制度の不備が指摘されています。

与党の立場で福島第一原発事故の検証と総括を前提として原発立地地域の声をしっかりと政策に反映させ、国政の場で原子力防災を着実に進めてまいります。



思い出の宝物

プロフィール

新潟県立三条高校 卒
京都大学法学部 卒

1987.4 通商産業省入省

資源エネルギー庁、貿易局、中小企業庁、産業政策局、経済企画庁、プリティッシュ・コロンビア大学客員研究員、大臣官房秘書課長補佐、国土交通省貨物流通システム高度化推進調整官、岐阜県新産業労働局長等

2004.10 新潟県知事 (3期)

この間、全国知事会危機管理防災対策特別委員会委員長 (中央防災会議委員)、全国積雪寒冷地帯振興協議会会長、全日本錦鯉振興会会長等を歴任

2017.4 新潟薬科大学 特別顧問・特別招聘教授



泉田ひろひこ

検索



現場主義!! 即戦力!



いずみだ 泉田ひろひこの知事12年の実績を知る

柏崎刈羽原子力発電所

原子力防災上の問題については、国に対して繰り返し提案・要望を行っています。昨春、原子力関係閣僚会議において「地域の声に耳を傾け、その要請に対して真摯に向き合い、真正面から取り組む」と決定され、制度の不備が指摘されている原子力防災の見直しが始まったところです。

原子力防災の見直しが始まる



国とともに原子力防災を
着実に進めます

地域医療体制

充実を図るため、これまでドクターヘリの導入や県立病院の経営安定化に加え、全国的にも注目を集める魚沼地域の医療再編を進めてきました。また、医師・看護師等の確保に向け専任の課を設置し、奨学金制度の拡充や臨床研修医確保のための支援等の取組を行ってきたこともあり、医師数は増加しています。



医師数増加

えちごトキめき鉄道

平成24年2月の国土交通大臣との合意により、えちごトキめき鉄道に関しては、開業後30年間で830億円以上の国の支援が見込まれることとなりました。また、県としても平成25年5月に沿線市とともに、えちごトキめき鉄道に対する投資・支援スキームをとりまとめ、経営基盤の確立と安定経営に一定の道筋がつけました。

国の支援 開業後30年間で **830** (見込) 億円

経営基盤の確立
安定経営

県財政

ピーク時の
県債残高は
24,266
億円

17,993
億円

県政史上初めて
減少を継続

表参道・新潟館 ネスバス

6年間販売額
6億円突破!
入館者数
100万人突破!

米の輸出が
全国
No.1

農業売上額
1年間で
500 UP
万円

県立図書館

40万人台
入館者数
23万人